

# －平成 30 年度 泉大津市決算特集－

## 平成 30 年度決算の概要

平成 30 年度の一般会計における最終予算現額は 291 億 2,409 万円で、この予算に対する決算額は、歳入が 279 億 6,066 万円、歳出が 275 億 2,278 万円で、差し引き 4 億 3,788 万円となりました。このうち翌年度へ繰り越すべき財源 9,827 万円を差し引いた実質収支の額は 3 億 3,961 万円となり、15 年連続の黒字決算となりました。

### ■ 平成 30 年度決算の概要

会計名	決算額		形式収支額(A) (歳入ー歳出)	繰り越すべき 財源(B)	実質収支額 (A-B)
	歳入	歳出			
一般会計	279 億 6,066 万円	275 億 2,278 万円	4 億 3,788 万円	9,827 万円	3 億 3,961 万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

### ○一般会計 歳入の概要

①市税…歳入の根幹である市税は、個人市民税で 2,523 万円の増となつたものの、法人市民税で 9,364 万円の減、市たばこ税は 627 万円の減となり、全体で前年度比 0.5% 減の 115 億 2,688 万円となりました。

②税外収入…繰越金は、前年度純剰余金が 1 億 7,827 万円の増、繰入金は都市施設整備基金繰入金が 1 億 1,156 万円の増などにより、1 億 1,855 万円の増となつたものの、財産収入は土地売払収入で 4 億 4,356 万円の減、諸収入は泉州医療圏二次救急医療対策事業運営費補助金分担金で 3,233 万円の減などがあり、全体で前年度比 6.6% 減の 22 億 6,079 万円となりました。

③国庫支出金…施設型給付費負担金で 6,285 万円の増、障がい者総合支援負担金で 3,672 万円の増などがあった一方で、臨時福祉給付金事業費に係る補助金で 2 億 1,468 万円の減、生活保護費負担金で 1 億 1,869 万円の減、児童手当負担金で 2,792 万円の減などにより、前年度比 4.3% 減の 49 億 1,366 万円となりました。

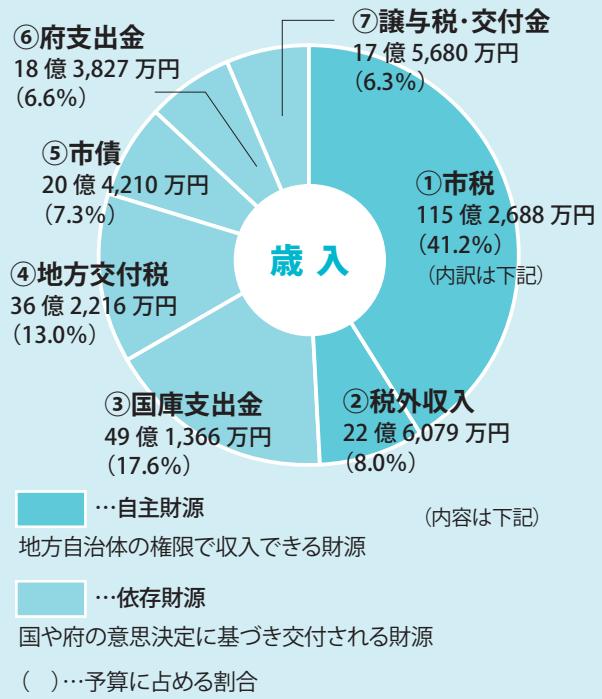
④地方交付税…地方財源の均衡化を図るために、国税の一定割合などが地方公共団体に交付されるもので、前年度比 3.8% 減の 36 億 2,216 万円となりました。

⑤市債(借入金)…旧市民会館除却事業債で 3 億 2,230 万円の増となつたものの消防施設整備事業債で 5 億 4,340 万円の減、認定こども園整備事業債で 3 億 4,350 万円の減などにより、前年度比 21.5% 減の 20 億 4,210 万円となりました。また、借換債を除いた実質的な決算額は前年度比 26.6% 減の 17 億 4,040 万円となりました。

⑥府支出金…重度障がい者医療費等助成事業に係る補助金で 6,433 万円の増、国民健康保険基盤安定負担金で 4,584 万円の増などがあつた一方で、連続立体交差事業費委託金で 1 億 9,045 万円の減、障がい者医療費等助成事業に係る補助金で 4,410 万円の減などにより、前年度比 7.0% 減の 18 億 3,827 万円となりました。

⑦譲与税・交付金…地方消費税交付金は 3,009 万円減の 13 億 1,136 万円となり、そのうち社会保障財源にあたる 5 億 8,052 万円を障がい福祉サービス給付などの社会保障施策の財源として活用しました。全体では、前年度比 3.1% 減の 17 億 5,680 万円となりました。

## 歳入 279 億 6,066 万円



### 「①市税」の内訳

個人市民税	37億3,451万円
法人市民税	9億 86万円
固定資産税	52億2,462万円
軽自動車税	1億1,679万円
市たばこ税	5億7,700万円
都市計画税	9億7,310万円

### 「②税外収入」の内容

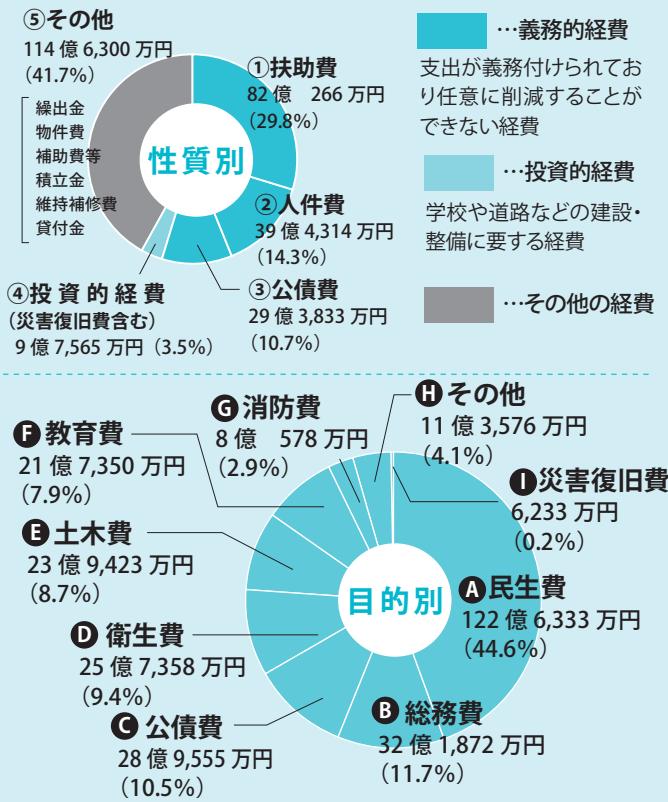
諸収入、使用料及び手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金
( )…予算に占める割合

## 市民 1 人あたりの市税負担額

(平成 30 年度末時点での住民登録人口により算出)

15 万 4,394 円

# 歳出 | 275 億 2,278 万円



## 目的別歳出を「市民1人あたり」に置き換えると…

A 民生費 (高齢者や児童の福祉に)	16万 4,258 円
B 総務費 (窓口業務、税金徴収に)	4万 3,112 円
C 公債費 (借入金の返済に)	3万 8,784 円
D 衛生費 (ごみ処理や病気予防に)	3万 4,471 円
E 土木費 (道路・河川・公園整備に)	3万 2,069 円
F 教育費 (学校、公民館、生涯学習に)	2万 9,112 円
G 消防費 (消防活動、防災活動に)	1万 793 円
H その他 (議会、商工、農林水産に)	1万 5,213 円
I 災害復旧費 (災害復旧事業に)	835 円

## 市民1人あたりの歳出総額

(平成30年度末時点での住民登録人口により算出)

36万 8,647 円

歳出の決算は、経費の経済的な性質に着目した「性質別分類」と行政目的に着目した「目的別分類」に分類することができます。性質別分類では平成30年度の概要を、目的別分類では、市民1人あたりの歳出額をお知らせします。

### ◎一般会計 岁出の概要

#### 【義務的経費】

①**扶助費**…障がい者総合支援給付事業で9,873万円の増となったものの、臨時福祉給付金(経済対策分)事業で2億1,150万円の減、生活保護事業で6,898万円の減などがあり、前年度比1.2%減の82億266万円となりました。

②**人件費**…退職手当で3,771万円の減となったものの、職員給与人事院勧告による増額の給与改定があり、8,470万円の増となつたことから、前年度比2.0%増の39億4,314万円となりました。

③**公債費**…市債の返済に要する経費で、前年度比3.1%減の29億3,833万円、借換えに伴う支出額を除いた実質的な決算額は、前年度比5.9%減の26億3,663万円となりました。

#### 【投資的経費】

④**普通建設事業費**…泉大津駅西地区周辺整備事業で3,578万円の増、文化財保存事業で3,398万円の増となったものの、消防庁施設整備事業で7億7,513万円の減、認定こども園施設整備事業で3億5,112万円の減、通信設備管理事業で1億2,761万円の減などにより、前年度比62.0%減の9億1,332万円となりました。

⑤**災害復旧費**…平成30年9月の台風21号の影響により、畠田公園施設災害復旧事業で2,804万円、池上曾根遺跡弥生学習館災害復旧事業で1,377万円などにより6,233万円となりました。

#### 【その他の経費】

⑥**その他**…積立金では、公共施設整備基金積立事業で2億4,255万円の減などがあり、前年度比20.9%減の11億6,213万円となりました。繰出金では、下水道事業特別会計繰出金で1億4,604万円の増などがあり、前年度比5.6%増の45億1,414万円となりました。補助費等では、泉北環境整備施設組合負担金事業の清掃分で9,146万円の減などにより、前年度比2.6%減の21億8,550万円、その他の経費全体では、前年度比2.9%増の114億6,300万円となりました。

## ■特別会計と企業会計の決算状況

会計名	決算額		形式収支額 (歳入ー歳出) (A)	翌年度へ 繰り越すべき 財源(B)	実質収支額 (A-B)
	歳入	歳出			
特別会計	197億4,245万円	193億7,111万円	3億7,134万円	14万円	3億7,120万円
土地取得事業特別会計	9億399万円	9億399万円	0万円	0万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	83億2,201万円	81億8,233万円	1億3,968万円	0万円	1億3,968万円
介護保険事業特別会計	52億8,479万円	51億8,671万円	9,808万円	0万円	9,808万円
後期高齢者医療特別会計	8億8,836万円	8億6,065万円	2,771万円	0万円	2,771万円
駐車場事業特別会計	1億1,266万円	1億1,266万円	0万円	0万円	0万円
下水道事業特別会計	42億3,064万円	41億2,477万円	1億587万円	14万円	1億573万円

会計名	流動資産(A)	流動負債(B)	資金過不足額 (A-B)
企業会計	35億3,875万円	29億5,283万円	5億8,592万円
病院事業会計	9億3,096万円	25億1,468万円	▲15億8,372万円
水道事業会計	26億779万円	4億3,815万円	21億6,964万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

平成 30 年度の一般会計決算を、家計簿におきかえてみると…?

# おづみんの家計簿



ここでは、泉大津市の平成 30 年度の一般会計決算を、「おづみんの家計簿」に置き換えてています。イメージがつきやすいように、5,000 分の 1 に縮小してみました。家計簿なので、単純に比べられないところもあります。あくまでも参考としてご覧ください。

## 歳入 おづみんの「収入」( ) 内は前年度比

収入の内容	収入額
会社からの給料	230 万円
実家からの援助	243 万円
銀行などからの借入金	41 万円
その他の収入	45 万円
パート・家賃収入	11 万円
不動産収入	18 万円
前年度からの繰越	11 万円
貯金の取り崩し	5 万円
1年間の収入合計	559 万円
(-2 万円)	(-11 万円)
(-11 万円)	(-3 万円)
(±0 万円)	(-9 万円)
(+4 万円)	(+2 万円)
(-27 万円)	

## 歳出 おづみんの「支出」( ) 内は前年度比

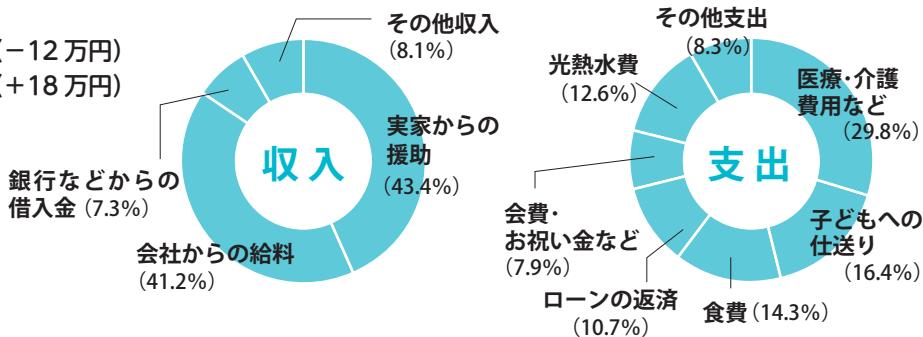
支出の内容	支出額
食費	79 万円
医療・介護費用など	164 万円
子どもへの仕送り	90 万円
ローン返済	59 万円
会費・お祝い金など	44 万円
光熱水費	69 万円
その他の支出	45 万円
家の増改築・修理代・貯金など	45 万円
1年間の支出合計	550 万円
(+2 万円)	(-2 万円)
(+4 万円)	(-2 万円)
(-1 万円)	(+8 万円)
(-34 万円)	(-34 万円)
(-25 万円)	

## おづみんのローンと貯金 ( ) 内は前年度比

おづみん家	家計の残高
ローン	550 万円
貯金（現金）	107 万円



## 平成 30 年度 おづみんの家計決算の円グラフ



## 借入金と財産の状況

(令和元年 6 月 30 日時点)

### ■ 市の借入金（市債・企業債）現在高

会計名	現在高
一般会計	275億1,959 万円
土地取得事業特別会計	19億5,258 万円
下水道事業特別会計	229億2,552 万円
水道事業会計	32億2,165 万円
病院事業会計	41億3,405 万円
合 計	597億5,339 万円



### ■ 市の財産現在高

区分	現在高
有価証券	2,350 万円
泉大津市財政調整基金	22億2,832 万円
泉大津市都市施設整備基金	3億3,718 万円
泉大津市福祉基金	2,245 万円
交流とふれあいのまちづくり基金	2億5,737 万円
泉大津市減債基金	3億4,224 万円
深喜人材育成基金	1億3,227 万円
泉大津市公園墓地基金	4,713 万円
泉大津市介護給付費準備基金	3億3,713 万円
辻川穂太郎やすらぎ基金	8,916 万円
泉大津市がんばろう基金	3,708 万円
佐野幸子基金	1,408 万円
泉大津市地域環境基金	1億2,896 万円
八木稔すこやか基金	5,947 万円
泉大津市環境整備資金貸付基金	6,243 万円
泉大津市市営住宅整備基金	3億5,968 万円
テクスピア大阪産業振興整備基金	3億6,499 万円
泉大津市セーフコミュニティ基金	5,740 万円
泉大津市ふるさと応援基金	3億9,848 万円
泉大津市下水道基金	1億8,206 万円
泉大津市公共施設整備基金	4億6,402 万円
泉大津市国民健康保険事業財政調整基金	0 万円
小計	59億2,190 万円
合計	59億4,540 万円

# 平成 30 年度決算における健全化判断比率と 資金不足比率（暫定値）を公表します。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成 30 年度決算において算定した健全化判断比率（4 指標）および資金不足比率を暫定値として公表します。4 指標のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率は収支が黒字であったため、該当はありません。実質公債費比率は、前年度の 13.7% から 1.8 ポイント改善し 11.9% となりました。将来負担比率は、前年度の 91.8% から 23.6 ポイント改善し 68.2% となりました。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律による、健全化判断比率（4 指標）はいずれも早期健全化基準以下であり、着実に改善が図られているところですが、依然として厳しい財政状況に変わりありません。今後も効率的で効果的な財政運営に努めてまいります。

## ■ 健全化判断比率：4 指標 ※黒字である場合には「一」の表示となります。

指標名	概要	泉大津市		国の基準	
		比率		早期健全化基準	財政再生基準
		30年度	29年度	30年度	30年度
実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	—	—	12.67% 以上	20.00% 以上
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	—	—	17.67% 以上	30.00% 以上
実質公債費比率	1 年間の収入に対する借入金返済の負担を 3 か年の平均で示した割合	11.9%	13.7%	25.0% 以上	35.0% 以上
将来負担比率	標準財政規模に対する将来本市が支払う借入金返済の割合	68.2%	91.8%	350.0% 以上	

## ■ 資金不足比率 ※不足額がない場合には「一」の表示となります。

指標名	事業名	概要	泉大津市		国の基準
			30年度	29年度	
資金不足比率	水道事業会計	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合。この割合が高い場合、経営状況が悪いことを指します。	—	—	20.0% 以上
	病院事業会計		8.8%	8.6%	
	下水道事業特別会計		—	—	

## 平成 30 年度に実施した主な事業

第 4 次総合計画にもとづき、平成 30 年度もさまざまな事業を実施しました。そのなかで、いくつかご紹介します！！

### 1. 中学校給食開始に向けてスタート【2,913 万円】

中学校給食を進めるにあたり、民間調理場から配送される給食を保管する配膳室を整備しました。令和元年 9 月からは市内の全中学校で給食がスタートしています。



給食

### 2. あしゆびプロジェクト始動！【1,657 万円】

平成 30 年度から、あしゆび（足の指）をきたえることで、健康な体を維持するための土台をつくるというプロジェクトを、官民連携のもと始動しました。現在、市内の公立幼稚園・保育所・認定こども園では、あしゆびを使った遊びや体操を実施し、高齢者の介護予防としては、あしゆび体操などに取り組む自主サークルの効果検証を行うとともに、親子で参加する運動あそび教室なども開催し、健康な体作りに取り組んでいます。



↑あしゆびセルフケア  
←あしゆび体幹体操に取り組む子どもたち

### 3. 「子ども医療助成制度」の対象年齢を拡大しました！【2 億 6,708 万円】

子育て支援の充実を目的に、子ども医療費の通院医療費の助成対象を小学校 6 年生修了から中学校 3 年生修了まで拡大しました。



### 4. 消防団屯所整備工事が完了！【1,092 万円】

消防本部の移転に伴い、統合のため閉鎖した消防出張所を改修し、消防団屯所を整備しました。屯所の整備により、地域に密着した消防団の活性化と災害活動能力の向上が期待されます。

消防団屯所→

